

2014年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	建築・デザイン学科						
科目名	空間造形						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期		
必修・選択の別	選択必修科目						
担当者	金子 哲大						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・空間を造形するための基本的な知識を習得する。(B4) ・他領域の出来事と空間デザインを関係づけるスタンスを習得する。(A6) 						
日程と内容	01 0407 ガイダンス 02 0414 ミース・コルビジェ・ライト 03 0421 モダン建築 04 0428 パウハウス 05 0512 ロシアアヴァンギャルド 06 0519 モダン：絵画彫刻等 07 0526 モダン：絵画彫刻等・倉俣史朗1 08 0602 ポストモダン建築 09 0609 日本のポストモダン1 10 0616 日本のポストモダン2 11 0623 ルイスバラガン・倉俣史朗2 12 0630 レムコールハース・ベルナールチュミ 13 0707 日本の現代建築 14 0714 世界の現代の建築状況 0721 定期試験 15 0728 映像・授業まとめ						
成績評価基準	定期試験	70%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート	30%	プレゼンテーション				
	課題 演習		計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・空間を造形するための基本的な知識を習得する。(B4):ほぼ達成した。 ・他領域の出来事と空間デザインを関係づけるスタンスを習得する。(A6):ほぼ達成した。 						
反省点	多量の映像を見せる機会があるが、学生からは屋過ぎで暗くて睡魔に襲われるとの指摘があった。多少映像中にコメントするなど眠くならないような工夫をしたい。						
来年度の計画	再来年度より近現代建築史という新規科目を開講するが、その科目と内容がかぶるところがある。当科目をもうちょっと現代に寄せて、歴史的な部分を削除しながら内容を充実するよう準備する予定であり、来年度の科目は今年度と同様に行う予定である。						
授業評価アンケートに対するコメント	例年に比べて受講生が多くとまどいがあったが、アンケート結果で平均以上の8.6には安堵した。しかしながら、授業中に中途半端に雑談が入ることに不満がある学生が少数ながらいた。本人は授業内容を日常での比喻で説明しようとする意図があるのであるが、来年度に向けて反省したい。						
履修登録者数	65名	定期試験 受験者数	61名	合格者数	61名	合格率	100%